



中央聖書神学校 Central Bible College

CBC後援会だより vol.21

神学校幾星霜

後援会副会長 岩本章子
(武蔵野基督教会)



神学校改築のニュースを耳にし、徐々に具体化されてゆくのを聞きながら、「あれが無くなる?」「これが無くなる?」と、寂しい思いになりました。

私が最初に「全国聖会」に出席した約70年前は、今の駐車場に大きな天幕が張られ、敷かれたゴザの上に座ってメッセージを聴いていたものです(下は小石の混じる土です)。やがて、そこに宣百ホールが建てられ、聖会のみならず、入学式、卒業式も行われました。

出版部、女子寮、本部棟(教団本部・教室・食堂)、男子寮、ラジオ部が取り壊された際の、校舎の木片をお持ちの方も多くいらっしやることでしょう。

1949年に駒込の地に中央聖書学校(現中央聖書神学校)が開校されて以来、2024年の今日まで、場所が変わったものもありますが、残っているものは校門の鉄製門扉、水は抜かれています。

灯籠、桜、後に植えられたヒマラヤ杉、枇杷等、私にとっては思い出に残るものです。

この度の改築に伴い、一番残念で寂しく思うのは食堂が無くなることです。私たち後援会の人たちは、役員会の後に神学生の方々と共に、美味しい真心のこもった、手作りのお食事を頂けることが嬉しく、また交流の場ともなっていました。



門柱・門扉と共に構内に残る敷石

後援会の働きの目的は、神学生の経済面、特に奨学金でお支えることにあります。交流を通して神学生を知ることは大切なことなのです。その「場」が無くなるのは、寂しいことです。



弓山師、佐伯師



愛された美しい庭園
最後の桜と灯籠の横で記念撮影

新メンバーの紹介

浅賀信行兄(小岩栄光キリスト教会)
音楽を通して教会に導かれました。
今回、後援会活動ができる事を感謝します。



浅賀奈代美姉(小岩栄光キリスト教会)
信仰をもって53年になります。昨年からは後援会役員に加わりました。神学生の支援のため、がんばります。



お祈りとご支援を感謝します

神学生のあかし



本科 専門課程
中村 成美

主の御名を賛美します。神学校と学生のためにいつもお祈り、ご支援いただき心から感謝いたします。私は大学生の時に救われ、その後就職し、松江 Gosperl チャーチで洗礼を受けました。大学生時代から献身の思いはありましたが、なかなか一歩踏み出すことができませんでした。私は以前、通信教育を受講するも長続きしなかったという経験があるため、神学校に入るとしたら寮生活で学ぶと決めていました。しかし、最も不安だったのは経済面でした。今まであった収入がゼロになるということに恐れを覚えました。私の家族はクリスチャンではないので、家族からの支援は期待できませんでした。母教会にも経済的な負担をかけたことはありませんでした。神学校入学前、奨学金の存在を知り、もし奨学金の審査が通らなくても1年間寮生活をし、後は通信科に行こうと考え入学を決意しました。実際、1年次に無事奨学金を頂くことが

でき、今年本科3年目を迎えることができました。勉強以外に様々な経験をさせていただき、あの時、神様の召しに答えるために一歩踏み出せて良かったと、心から思っています。神学校卒業後は、大学生伝道に携わりたいと考えています。大学生時代は、人生や将来について自分なりに深く考える時です。私も大学生の時にイエス様を知って受け入れたので思い入れが強く、彼らに福音を届けたいと願っています。これからも日々神様に成長させていただき御心を求めていきます。



通信科 専門課程
関口 聡

主の御名を賛美いたします。私は2022年4月に中央聖書神学校通信科に入学いたしました。出身教会は横浜市にある杉田キリスト教会です。私の家族は妻と息子二人の四大家族です。

献身の召しは洗礼を受けた30年前に与えられていましたが、仕事や家庭の状況からなかなか踏み出せず、神学校への入学を断

断した時は、長男が大学一年生、次男が高校三年生の最も学費が掛かる時期でありました。また、私自身も勤務している会社の60歳定年を向かえる時であり、住宅ローンの返済も残っていました。また、60歳定年になり再雇用されても、現在の年収から大きく下がることは分かっていました。従って、経済的に考えると神学校に入学する時期を、子どもたちが大学を卒業し、私の年金が受給される時まで待つことも頭をよぎりましたが、ここで再度に亘り神様の召しに応えないこととの選択はありませんでした。経済面で悩んでいる時に母教会の牧師先生より奨学金制度について伺い、奨学金を受けることになりました。神学校での学びの機会を与えて下さった神様とCBC後援会の貴重なご支援に心より感謝しております。



(横須賀直人)



通常総会、音楽の捧げもの、茶話会報告

2024年2月24日(土)、通常総会が神学校のチャペルで行われました。会場出席者28名を得て、第1号議案から6号議案までが熱心に審議され、全件満場一致で可決されました。また、全国各地から議決権行使ハガキが140枚余り届き、会員皆さんの意識の高さを感じる事ができました。総会後は、「音楽の捧げもの」ということで、牛久キリスト伝道所の皆さん(青木先生ご夫妻ほか)の賛美に耳を傾けました。その後、茶話会が開催されました。三宅校長よりご挨拶をいただき、卒業される東神学生、二宮神学生、安本神学生のお証しをお聴きし、懇親を深めました。

サンライズ・クリスチャン・チャーチ (サンライズのぞみ教会)

埼玉県川越市

2023年11月19日サンライズのぞみ教会に後援会入会の案内に訪問させて頂きました。自然が残る広大な敷地に、西洋風の美しい礼拝堂と幼稚園・保育園牧師館等が建てられています。早めに着いたため、成人科の少人数のグループの学びから出席できました。神様との献身的向き合い方の証しには感銘を受けました。

礼拝堂は天上が高く講壇の上のステンドグラスに朝の陽ざしが輝きを増す美しさは神様の臨在を感じるほどでした。霊的な恵みに溢れた礼拝後に後援会の案内をさせて頂きました。本科生が在籍していることもあり、案内後も関心のある方と話すことができました。(酒井勝)



教会訪問レポート



藤沢オリーブチャペル

(藤沢福音キリスト教会)

神奈川県藤沢市

2023年10月8日に、藤沢駅で酒井勝会長と私達夫婦が待ち合わせして、歩いてほどなく藤沢キリスト教会に着きました。マンションの一階の教会で会堂と大きなお部屋がありました。素晴らしい賛美、メッセージの後に神学校後援会の案内をさせて頂きました。その後神学校卒業生(子どもの時に小岩教会に来ていた)と思いがけずお話ししたり、現役神学生の方々ともお交わりを持つことができました。美味しいカレーも頂きごちそうさまでした。(浅賀奈代美)



杉田キリスト教会

神奈川県横浜市

「あなたのパンを水に投げよ。後にそれを得る。」

4月21日、久保田潔先生ご夫妻、頭先生ご夫妻に迎えられ、京急杉田駅からほど近く、樹々の緑をバックに聳え立つ十字架塔が目印の杉田キリスト教会を、酒井会長と共に訪れました。4月29日には創立六十周年記念会を持たれるということで、皆様、感謝のうちにその準備でご多忙の中ではありませんでしたが、礼拝メッセージのあと時間を頂き神学校後援会への入会案内をさせて頂きました。久保田頭先生による礼拝メッセージでは冒頭の箴言十一章一節から「伝道に失敗あるいは無意味はない」、一見、パンを水に投げるように無意味に思える伝道の積み重ねこそ、後の収穫を生むのだ、と励ましを頂いて教会をあとにしました。(小林健二)



めじろ台シオン・チャペル

(八王子基督教会)

東京都八王子市

通信科に入学された神学生が奨励する礼拝に合わせ、和田先生は訪問日(4月7日)を設定してくださいました。岩本章子副会長と一緒に閑静な住宅地にある八王子基督教会を訪れました。会堂は建てられてから数年で、木造で床暖房が工夫された教会でした。礼拝堂以外にも食堂や子どもたちが活動できる部屋等各世代に配慮されていました。

新入生の神学生の奨励は、よく訓練され、献身の証しを含め、み言葉が語られました。

礼拝に引き続き後援会の案内をさせて頂きました。大口の入会を含めて反応が良かったです。案内後に教会内の食堂「シオン亭」で交わりながらうどんをご馳走になりました。(酒井勝)



CBC アーカイブス



弓山先生とこの神学生たちはだ～れだ？

2024年度 会員数・会費納入状況 (1月～4月)

区分	年間計画		実績		計画対比		
	会員数	会費(円)	会員数	会費(円)	会員数	会費(円)	会費進捗
法人会員	7	300,000	2	130,000	-5	-170,000	43%
教会会員	55	1,000,000	15	320,000	-40	-680,000	32%
個人会員	300	2,500,000	124	902,000	-176	-1,598,000	36%
賛助会員	50	100,000	13	26,500	-37	-73,500	27%
合計	412	3,900,000	154	1,378,500	-258	-2,521,500	35%

これからもお祈りのご支援をよろしくお願いいたします

献身者が経済的な憂いがないように支援の輪に加わりましょう

「後援会だより」や郵便局の払込取扱票が必要でしたら、ご遠慮なく左記にお問い合わせください。

発行所 中央聖書神学校後援会
 〒170-0003
 東京都豊島区駒込3-15-20
 Tel 03-39918-4925
 Fax 03-39918-4064
 Email kouenkai@cbc-j.ac.jp
 編集 後援会委員会
 印刷所 ベーテルフォト印刷(株)

後援会だよりをお読み下さった皆様方に神様の特別な祝福を祈りつつ。
 (富山均)

新学期に入り、学生たちは宿泊棟や弓山邸で1年間の仮住まいをしながら、新しい仲間たちと学びと訓練を始めました。長年親しんだ食堂も廃止され、各自、慣れようと頑張っています。でも栄養バランスと共に学生・教師・スタッフ間のコミュニケーションが課題と感じているようです。実際、職員たちも出勤から仕事を終えて帰るまで、同じ校内にいても学生たちと話す機会が少なくなりま



した。とても寂しい限りです。6月頃から神学校施設の建築工事が始まり、桜や石材、池も無くなるかと聞いていますので、この桜満開の風景も見納めと思いい目に焼き付けました。